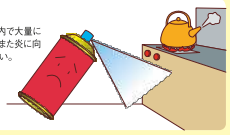
使用上の注意をよく読み、正しく使いましょう。

エアゾール製品の多くは高圧ガスを使用した可燃性の製品です。使用前及び捨てる前に、
容器に表示されている「使用上の注意」を必ず読んで、正しく使用すれば、安心してお使いいただけるものです。

禁止事項

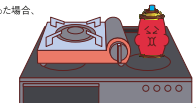
火の中には絶対に入れないでください!!
缶は密封されているので、たとえ空になったと思われるものでも破裂する危険があります。

火気注意!!
火気を使用している室内で大量に使用しないでください。また炎に向けて使用しないでください。



ファンヒーター、暖房機のそばには置かないでください!!
ストーブやコンロ、湯沸器など、火気の付近に置いたり使用しないでください。
破裂の危険があります。

電磁調理器上で使用、保管しないでください!!
電源が間違って入ってしまった場合、カセットボンベ等が過熱し、破裂する危険があります。



40℃以上になる所には置かないでください!!
直射日光の当たる窓の付近では40℃以上になる事がありますので、置かないでください。

自動車の窓近くなどに置かないでください!!
夏季の自動車内では、長時間のうちに缶が過熱され、破裂する危険があります。

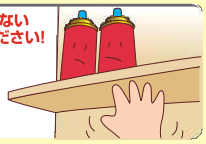
注意事項

長期間の置き忘れにご注意ください!
押入れや物置など、長期の置き忘れにご注意ください。スチール缶の場合、缶が錆びて漏れの原因になることがあります。

湿気の多い場所には置かないでください!
スチール缶の場合、缶が錆びて漏れの原因になることがあります。

十分に換気を行ってください!
閉め切った狭い場所で一時的に大量に使用する場合、必ず換気してください。

子供の手の届かない場所に置いてください!



●エアゾール製品処理対策協議会
社団法人日本エアゾール協会（エアゾール製品処理対策協議会事務局 03-5207-9850） http://www.aiaj.or.jp/
日本化粧品工業連合会　社団法人日本ガス石油機器工業会　日本家庭用殺虫剤工業会　生活害虫防除剤協議会
社団法人緑の安全推進協会　日本エアゾール容器協議会　日本エアゾールヘアーラッカー工業組合　社団法人日本塗料工業会
日本オートケミカル工業会　芳香消臭脱臭剤協議会　日本石鹸洗剤工業会　日本製薬団体連合会

●中央適正処理困難指定廃棄物対策協議会

保存版

エアゾール缶（スプレー缶）、カセットボンベは正しく使い、必ず中身を使い切りましょう。使い切れない物は、中身を出しましょう。

中身が残ったエアゾール缶（スプレー缶）、カセットボンベをそのままごみ収集に出すと、ごみ収集車やごみ処理施設での引火や破損事故の原因となり、大変危険です。

① 中身の有無を確認しましょう

缶を手で振って中の音を聞いてください。中身が残っていると、『シャカシャカ』『チャプチャプ』などの音がします。

② 使い切れない物は中身を出しましょう

■エアゾール缶の場合

●シューッという音がしなくなるまでスプレーボタンを押して中身を出し切ってください。

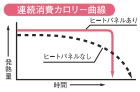
●または、中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等を使って中身を出し切ってください。
（中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等の使い方は中面をご覧ください。）

※この場合、ティッシュや新聞紙などに吹き付けることで、周囲への飛散にご配慮ください。
※火気のない戸外の風通しの良い場所で中身及びガス抜きをしてください。

■カセットボンベの場合

（社）日本ガス石油機器工業会登録商品の
カセットこんろは2007年4月生産分より
ヒートパネルを搭載しております。

ヒートパネルとは？（容器加温装置）
カセットボンベを適度に温める事で、ガス圧の低下を制御します。この働きにより、最後まで強い火力を維持し、カセットボンベ中のガスを最後まで使い切ることができます。



※カセットボンベを使い切れないものや、カセットボンベの処理の方法のご質問は、社団法人日本ガス石油機器工業会［カセットボンベお客様センター］
フリーコール 0120-14-9996 まで、お問い合わせください。

※カセットボンベには、［中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等］は付いておりません。

③ ルールを守ってごみ（不燃ごみ・資源ごみ／缶類、金属類など）に出しましょう

●ごみ（不燃ごみ・資源ごみ／缶類、金属類など）の出し方（「分別の仕方」等）は、お住まいの地域によって異なりますので確認して、ルールを守りましょう。

保存版

エアゾール缶の中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等の使い方及び使用例

業界では、エアゾール缶の中に残ったガスを**確実に安全に排出する**ため
［中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等］をエアゾール缶に装着しております。

但し、下記のエアゾール商品には、中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等は付いていません。

【例】 ●炭酸ガス、窒素ガス等の不燃性ガス使用商品（商品の表示をご覧ください）
●ガス量の少ない商品
（・泡状、クリーム状、ゼリー状の商品／・内容物100g以下の商品〈内容量は商品に表示してあります〉）

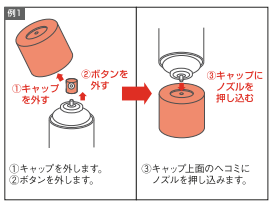
1 商品に記載された使用説明を必ずご覧ください。

2 下図の使用例以外にも商品の特性に合わせた中身排出機構などがあります。

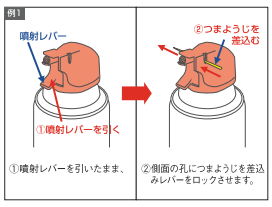
3 お問い合わせは商品記載のお客さま相談室や販売元にお尋ねください。

4 中身排出機構などを使用の場合は、火気のない戸外の風通しの良い場所で、中身及びガス抜きをしてください。

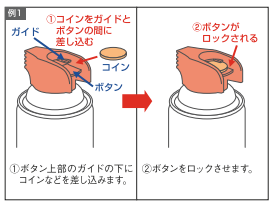
A キャップ上面のヘコミを使用するタイプ



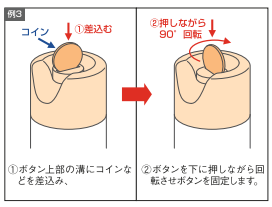
B つまようじを使用するタイプ



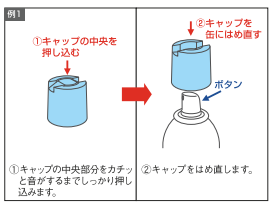
C コインを使用するタイプ



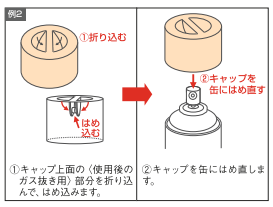
C コインを使用するタイプ



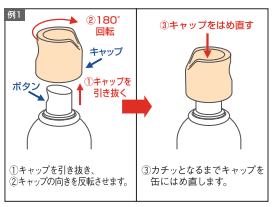
D キャップ上面を押し込み／折り込み使用するタイプ



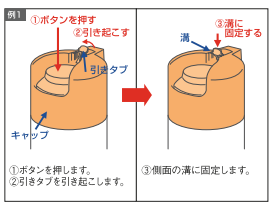
E キャップの両面を押し込み使用するタイプ



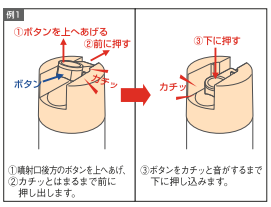
F キャップの向きを変えて使用するタイプ



G タブやレバーで固定するタイプ



H その他のタイプ



使用上の【禁止事項、注意事項】は裏面 ⇨ をご覧ください。